絆 KIZUNA がんばろう日本！

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

自由民主党ホームページ http://www.jimin.jp/

平成29年（2017年）1月

川崎市議団NEWS

●発行責任者／自民党川崎市議団 団長　松原 成文

平成 28 年 11 月 28 日（月）～ 12 月 21 日（水）の期間にて第 4 回川崎市議会定例会が開催されました。今回の定例会では、「議案第 177 号川崎市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員に関する条例の制定について」、「議案第 178 号川崎市コンベンションホール条例の制定について」等を含む計 39 本の議案審査が行われました。また、「川崎市イクボス宣言の取組」、「羽田連絡道路の工事費及び今後の取組」、「川崎港の活性化」などを併せて議論されることになりました。

川崎港の活性化で経済を牽引

川崎の港について市民の皆様はどのようなイメージを持っているでしょうか。「工場からの排水で汚れている」、「交通が不便」、「船があまり来ない」といったイメージをお持ちかもしれません。もっと言えば、「川崎に海や港があるの？」といったそもそもの話をされる市民もひょっとしたらいらっしゃるかもしれません。今、川崎港はマイナスイメージを改善するため、様々な取組が進められています。コンテナ貨物の取扱量は年々増加してきており、平成２７年度は１０万 TEU を超えました。新たな航路の開拓にも力を入れています。船が寄港し荷を揚げ降ろしすることで、港湾荷役会社はもとより、物流の動きが活発になることで市内外の経済が活性化されます。一方で課題もあります。それは川崎港から輸出、移出（輸出は海外向け・移出は国内向け）する貨物が少ないという点です。現状では、実入りより空のほうが上回ってしまっており、輸出、移出のための貨物を如何にして集積させるかということが、今後の川崎港にとって重要であります。特に外貿の取扱量が大きいので、海外向け貨物の集積に注力しなければなりません。川崎港の活性化を促進し、経済を牽引するために議会・行政・民間の相互協力のもと、港の更なる活性化に取組んでまいります。また、川崎の港は羽田空港の対岸にあり、これから多くの外国人観光客が訪れることとなり、注目されます。現在、川崎市では「川崎港緑化基本計画」を取りまとめ、水と緑の調和による癒しの空間の創造に取組んでいます。これまで川崎市は港の緑の管理について効果的に行っていませんでした。今後、市民や緑の維持管理の専門の方々のご意見も取り入れ、立地企業のご協力もいただきながら、すでに整備済みの人工海浜に加えて、新たな緑の潤いにより、親しまれる魅力的な港の公園として整備を進めていきます。

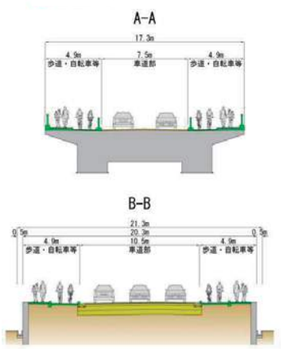
羽田連絡道路 事業費 300 億円 平成 32 年完成予定

東京都と川崎市で進めてきた羽田連絡道路の都市計画は、これまで国が主催する「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」の合意事項を踏まえ、東京都など関係機関と連携・協力し、必要な取り決めを進め、12 月 5 日に都市計画の手続きが完了しました。これらを踏まえ工事期間や総事業費、今後の取り組み等について質問を致しました。答弁では、多摩川を渡河する橋梁部及び多摩川から国道 409 号までの川崎市側取付部を合わせた工事費や用地補償費など、約 300 億円との算出結果が示されました。事業費は、国、都、川崎市それぞれが負担しますが、今後は、県にも協力を要請していくことになります。また、工期は、平成 29 年上半期の工事契約を目指し、平成 32 年の完成を予定している事が確認されました。我が党は、東京オリンピック、パラリンピックの開催に向けて、事業を推進すると共に、国、市の成長戦略拠点の形成を支えるインフラとしての機能強化の実現に向けて取組みます。

■橋りょうイメージ図

■平面図

■横断図



全国初!! イクボス宣言を応援する決議（案）可決

11 月に川崎市は、市長をはじめ、各局長ら総勢 35 名で「川崎市イクボス宣言」を致しました。ＮＰＯ法人ファザーリングジャパンなどと、勉強してきた自民党川崎市議団は、12 月 15 日の本会議において「川崎市イクボス宣言を応援する決議（案）」を共同提案し、全会一致で可決されました。既に、滋賀県草津市議会は、応援宣言をしておりますが、議決案件として上程し、可決された事は、全国市町村議会としては、初めての成果となりました。

イクボスとは、部下の仕事と私生活の両立を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織で結果も出しつつ、自らも実践する上司（管理職）のことであります。即ちお互いのワーク（仕事）ライフ（私生活）ソーシャル（社会的貢献）を尊重しあう事で、すべての分野で楽しみながらも結果を出そうとしている施策です。そうした中、地域の代表または代弁者である我々は、イクボスを応援していると宣伝もしながら実践をしなければなりません。12 月の代表質問においても、市長より「職員一人ひとりのライフステージに応じた仕事と生活の両立の実現を応援する働き方改革を進め、活躍できる職場をつくり、市民サービス向上に繋げる」ともありました。自民党川崎市議団は、ソーシャルライフを充実させるために、町内会、自治会、消防団等が、更に活性化する様、取り組んでまいります。

川崎市議会から 川崎フロンターレに 応援メッセージ

矢沢たかお プロフィール

● 昭和６０年８月２８日、川崎市宮前区初山に生まれる（31 歳）● 川崎市立菅生小学校　卒業・川崎市立菅生中学校　卒業・法政大学第二高等学校　卒業・法政大学情報科学部コンピュータ科学科　卒業 ● 平成 20 年４月　伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社・平成 26 年 7 月　政治活動に専念するため同社を退社・自由民主党公認　宮前区市政政策委員・平成 27 年 4 月　川崎市議会選挙（宮前区）初当選・平成２８年４月文教委員会・農業委員会 ● 剣道 四段、空手 二段、書道・毛筆三段 硬筆二段

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

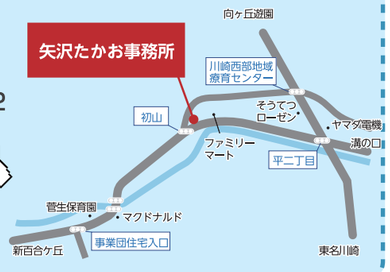
矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

電話 044 - 976 - 2727

FAX 044 - 976 - 8686

mail ※メールアドレスを変更致しました (新)mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

http://www.yazawa-t.jp/

twitter facebook